



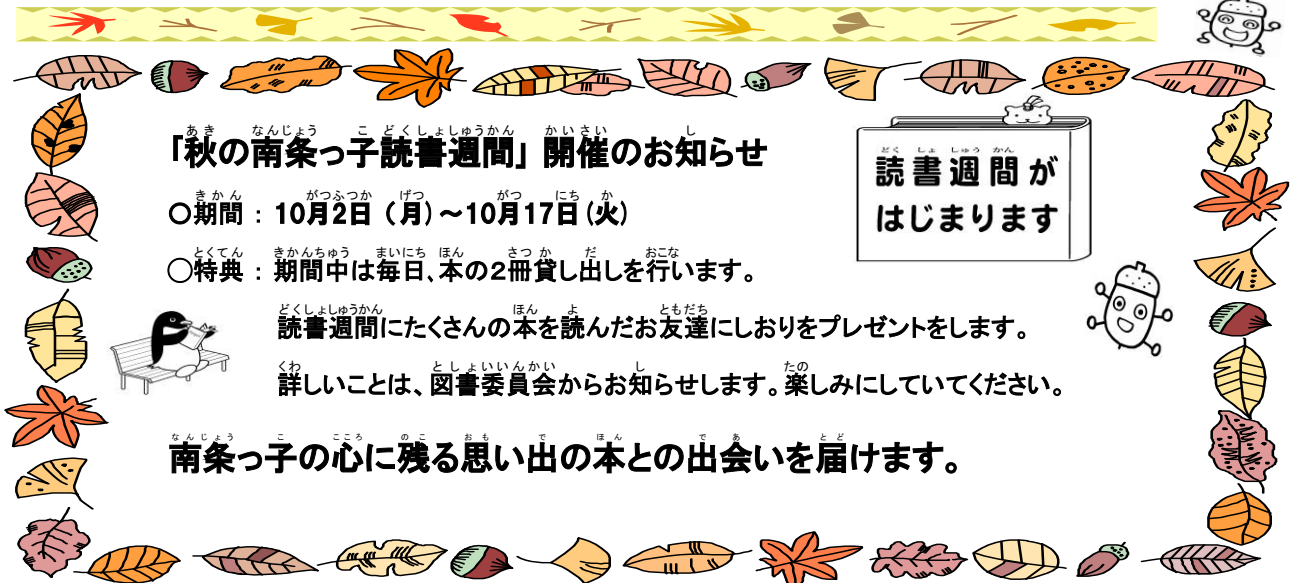
としよつだよ!



平成29年10月号
南条小学校図書室



秋の深まりを感じる時季。読書に取り組むのにふさわしい季節です。静かに本を手に取りページを開いてみると、そこから物語の世界がどんどん広がります。少しずつでも読書に取り組む時間ももち、さまざまな本と出会いましょう。読書で言葉を学び、豊かな心と知性を持ちましょう。家族といっしょに読書に親しむ時間を作り、一味違う読書の楽しみを味わいましょう。



「秋の南条っ子読書週間」開催のお知らせ

○期間：10月2日（月）～10月17日（火）

○特典：期間中は毎日、本の2冊貸し出しを行います。



読書週間にたくさんの本を読んだお友達にしおりをプレゼントをします。

詳しいことは、図書委員会からお知らせします。楽しみにしていてください。

南条っ子の心に残る思い出の本との出会いを届けます。

読書週間が
はじまります

●貸出しの期間を守りましょう。

次に読みたい人が待っています。貸し出し期間を守りましょう。

●図書室は、静かに本を読むところです。

図書室を利用する時は、静かに歩いて来ましょう。

図書室の本は必ず元の場所にもどしましょう。



南条っ子ファミリー読書を終えて

夏休み中に行いました「ファミリー読書」の感想に満ちた言葉をたくさんいただきました。一部ではありますが、ご紹介させていただきます。お家の方の感動の言葉、読書の喜び、そして何よりも家族で読書に親しむ時間の大切さがしみじみと伝わり、家庭読書のすばらしさを感じます。図書室では図書委員会の活動を通じて各学年ごとに目標冊数を決め、読書推進活動を進めています。これから読書目標冊数達成めざしてどんどん読書に取り組み、読書の喜びを十分に味わっていきましょう。

「ファミリー読書」感想の紹介

●「死の川とたたかう」 6年児童

「痛い、痛い」と言いながら病と戦う人たちの話です。昔、この富山県でイタイタイ病にかかった人がたくさんおいでたことを知りました。その頃と比べて今は本当によい時代になったのだと思います。

●「きみならどうする」 6年保護者

この物語は、初めての狩りで少年が体験する迷いと決断を描いた話です。人生には瞬時に選択しなければならないことがあります。くいのない選択をしなければいけないと思いました。

●「杉原千畝命のピザをありがとう」 5年児童

杉原千畝さんは、外務省での外交官の仕事をやめさせられるのを覚悟してユダヤ人のためにピザを書き続けたことは、とてもすごいと思いました。そのおかげで命があり生きのびた人が多かったのだと思います。

●「オットー戦火をくぐったテディベア」 5年保護者

ドイツの工場で作られ、誕生日プレゼントとして贈られたテディベア。「オットー」という名前をもらい、いつも親友たち(3人)と遊んでいたのに戦争により引き裂かれ別々の運命を歩き出しますが、終戦後にアメリカで奇蹟の再会を果たす物語。戦争の悲惨さと友情の深さを感じる本です。

●「科学者として生きたキュリー夫人」 4年児童

勉強が好きで絶対大学に入りたいマーニヤ(のちのキュリー夫人)は苦勞して大学に入れて、とてもうれしかったのだと思います。成績も一番でした。たくさん研究をして1つの科学元素である、「ラジウム」を発見し、マーニヤが本当に勉強が好きなのがよくわかりました。

●「猫と漱石」 4年保護者

「吾輩は猫である」の作者である夏目漱石の実際のエピソードを基にしている話です。精神が病んで暴力をふるう漱石に対して、大きな心で強く支える妻の姿に共感し、とても好感をもって読むことができました。

●「真田十勇士」 3年児童

最後の戦いまで生き残ったさすけは、すごいなと思いました。さいぞうもすごかったです。空を飛びながら敵を殺し屋根まで飛んでいったことで、さすけとさいぞうが忍者だという事実を知りました。

●「エルマーのぼうけん」 3年保護者

子供が保育園の時期に劇でエルマー役をしたことを思い出し、本を手に取りました。エルマーが冒険に挑んでいく中さまざまな動物と出会い、また困難を乗り越えていくところが心に残っています。

●「あなたをずっとずっとあいしている」 2年児童

林で卵をひろったお母さん恐竜が自分が産んだ卵といっしょにあたためます。一人は自分の子でもう一人は違うのを知りながら育てていきます。最後に卵を無くした本当のお母さん恐竜のもとへ帰っていくところは、とても感動しました。

●「やまなし」 2年保護者

谷川の底に住む、カニの親子の会話が何ともほほえましく、「このような会話を本当にしているかもしれないな」と温かな気持ちになりました。やまなしは梨の実のことで、川におちる梨の実をカニの親子も楽しみにして食べているのだと思いました。

●「ねむりのはなし」 1年児童

どうぶつには、まぶたをとじるどうぶつと、まぶたをとじないどうぶつがいることがわかりました。とてもびっくりしました。

●「きみがおしえてくれた」 1年保護者

戦争時代のつらさ、悲しさ、ひどさを1匹の犬のお話で知ることができました。いま、みんなが笑顔で毎日を過ごしていることへの幸せをかんじました。

